

鉱 工 業 指 数 參 考 図 表 集
(2020 年 8 月 速 報)

2020 年 9 月 30 日

経済解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

2020年8月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

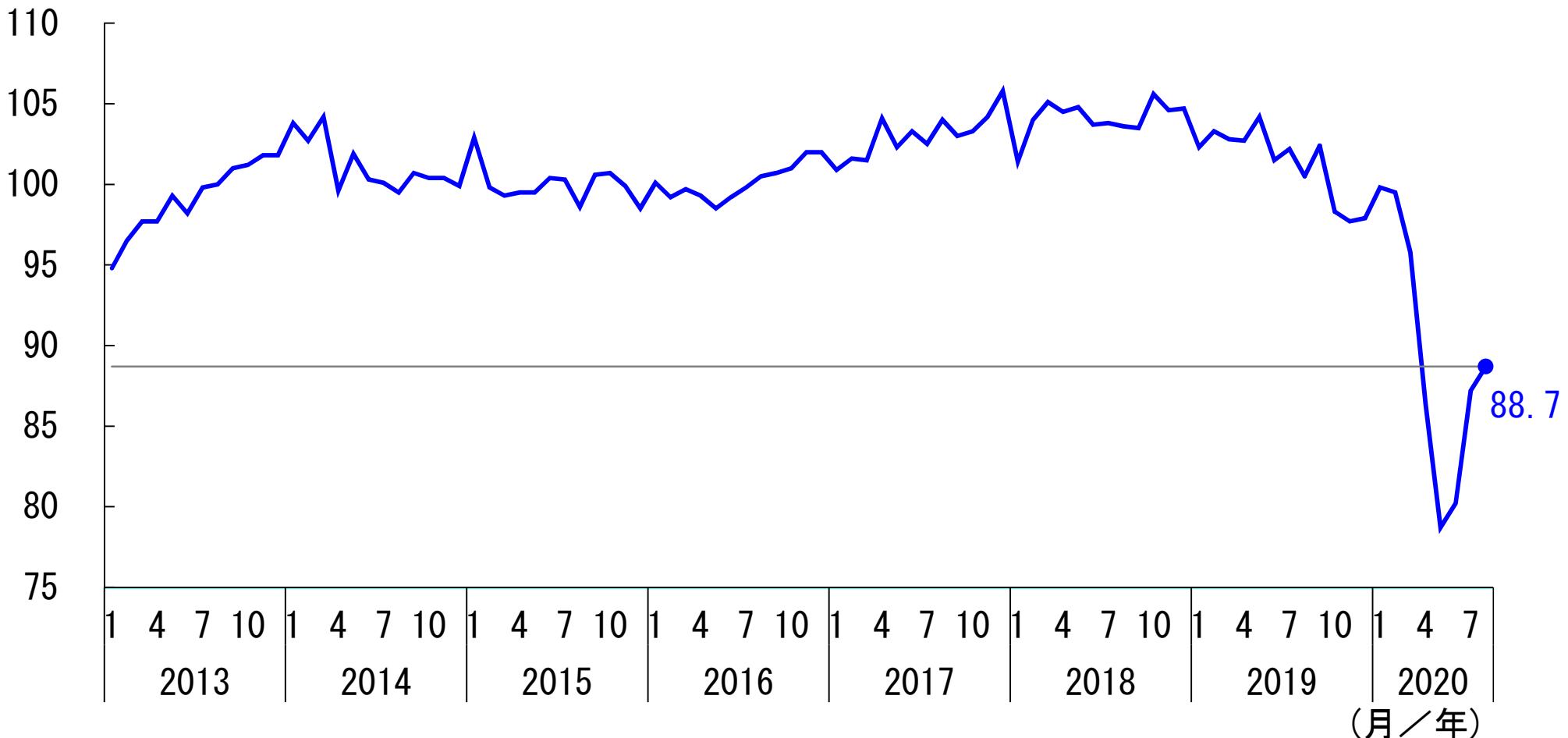
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数 前月比	88.7 1.7%	87.6 2.1%	97.9 -1.4%	122.5 -2.5%
指数水準	2020.3 95.8以来 I 2017.12 105.8 II 2018.10 105.6 III 2018.3 105.1	2020.3 93.2以来 I 2014.3 105.7 II 2017.12 105.4 III 2014.1, 2018.4, 10 104.4	2017.2 97.8以来 ①2014.3 95.3 ②2013.11 95.6 ③2013.8 96.2	2020.3 121.9以来 ①2014.3 89.1 ②2013.11 90.8 ③2014.1 91.8
前月比の動き	3か月連続+ (2020.6～当月)	3か月連続+ (2020.6～当月)	5か月連続- (2020.4～当月)	3か月連続- (2020.6～当月)
前月比幅	2020.7 8.7%以来 I 2020.7 8.7% II 2015.1 3.0% III 2017.4, 2018.2 2.6%	2020.7 6.6%以来 I 2020.7 6.6% II 2020.6 4.8% III 2015.1 3.1%	2020.7 -1.5%以来 ①2020.5 -2.6% ②2020.6 -2.4% ③2013.11 -2.2%	2020.7 -8.9%以来 ①2020.7 -8.9% ②2020.6 -7.1% ③2014.3 -4.4%
前年同月比(原指数)	-13.3% (80.5)	-13.8% (80.1)	-6.0% (99.8)	12.3% (132.5)
前年同月比の動き	11か月連続- (2019.10～当月)	11か月連続- (2019.10～当月)	4か月連続- (2020.5～当月)	21か月連続+ (2018.12～当月)
前年同月比幅	2020.7 -15.5%以来 ①2020.5 -26.3% ②2020.6 -18.2% ③2020.7 -15.5%	2020.7 -16.6%以来 ①2020.5 -26.8% ②2020.4, 6, 7 -16.6% ③2020.8 -13.8%	2015年基準最低水準 ①2020.8 -6.0% ②2020.7 -4.8% ③2014.3 -4.1%	2020.7 17.6%以来 I 2020.5 40.7% II 2020.4 29.2% III 2020.6 22.5%

1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数の動向

- 2020年8月の鉱工業生産指数は、88.7(前月比1.7%)と3か月連続の上昇。

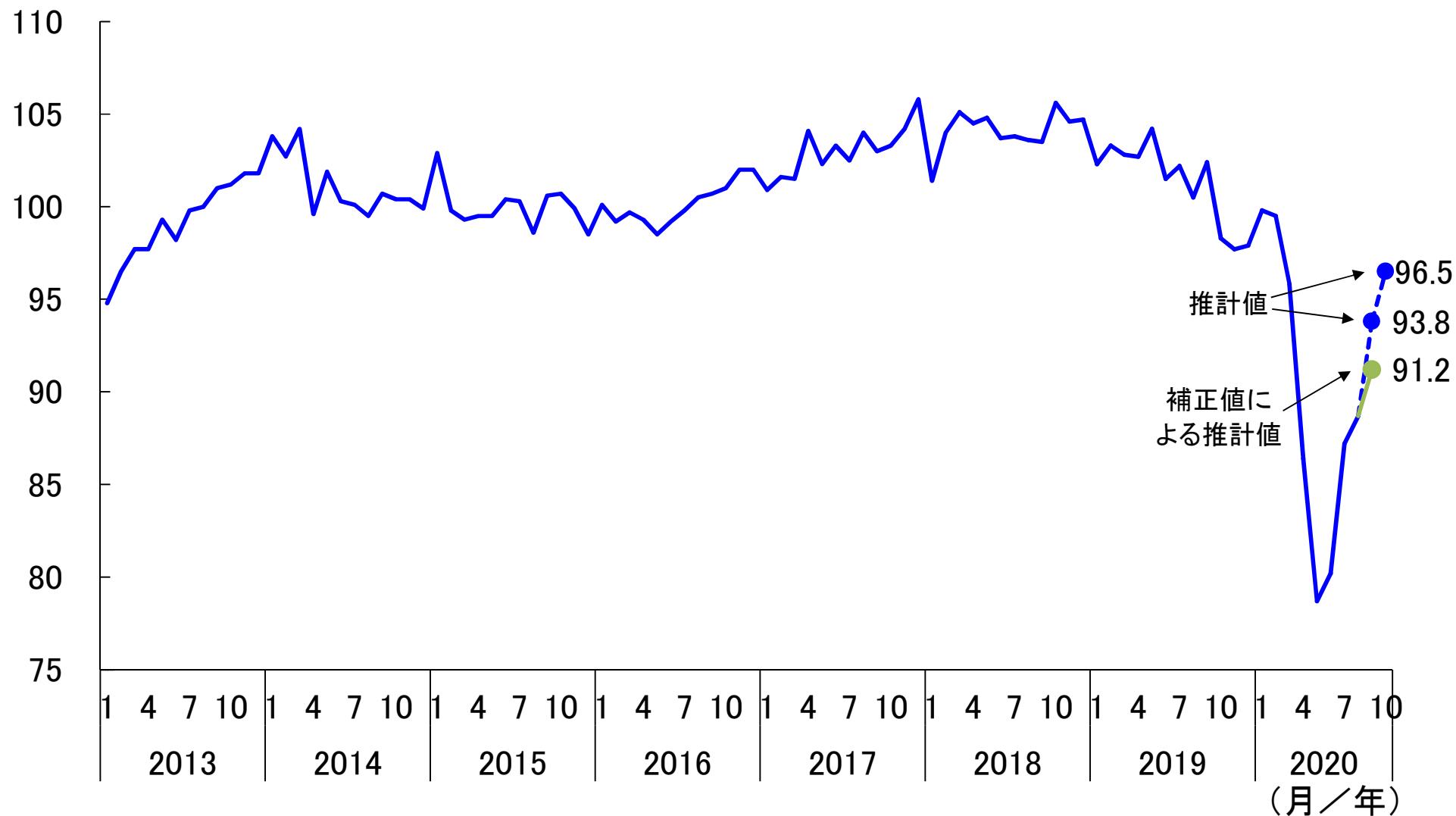
(2015年=100、季節調整済)



(注)鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、2015年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。

製造工業生産予測調査の前月比で鉱工業指数（季節調整値）を延長

(2015年=100、季節調整済)



(注)補正值は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鉱工業指数の動きをより適切に把握できるように試算したものです。

2020年8月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(業種別)

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	自動車工業	8.9%	74.1%
	品目	乗用車	9.3%	38.3%
		車体・自動車部品	6.9%	23.3%
	2位の業種	鉄鋼・非鉄金属工業	6.5%	20.0%
	品目	熱間圧延鋼材	10.8%	6.1%
		冷間仕上鋼材	11.7%	2.6%
	3位の業種	電子部品・デバイス工業	4.6%	16.6%
	品目	集積回路	11.9%	15.6%
		電子部品	7.1%	6.4%
鉱工業生産を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	生産用機械工業	-9.8%	-41.5%
	品目	半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置	-24.5%	-32.5%
		その他の生産用機械	-6.6%	-4.9%
	2位の業種	電気・情報通信機械工業	-3.7%	-17.9%
	品目	無線通信機器	-31.9%	-8.8%
		電池	-7.1%	-3.5%
	3位の業種	パルプ・紙・紙加工品工業	-3.3%	-4.2%
	品目	紙加工品	-5.6%	-2.4%
		パルプ	-3.3%	-0.6%

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

2020年8月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・財別)

＜全体＞

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向に引っ張った3品目	1位	乗用車	9.3%	38.3%
	2位	車体・自動車部品	6.9%	23.3%
	3位	集積回路	11.9%	15.6%
鉱工業生産を低下方向に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置	-24.5%	-32.5%
	2位	無線通信機器	-31.9%	-8.8%
	3位	電子デバイス	-10.4%	-7.2%

＜財別＝用途別＞

	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	4.3%	118.7%
		モス型半導体集積回路(メモリ)	36.2%	18.7%
		駆動伝導・操縦装置部品	9.9%	11.0%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品	耐久消費財	6.2%	30.4%
		普通乗用車	13.3%	34.2%
		二輪自動車(125ml超)	48.3%	2.4%
非耐久消費財	食料品や衣料品など家計で購入される製品	非耐久消費財	0.2%	2.4%
		乳液・化粧水類	12.3%	7.1%
		日焼け止め・日焼け用化粧品	60.9%	6.1%
建設財	鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品	建設財	0.2%	0.8%
		セメント	7.5%	2.5%
		エレベータ	6.8%	1.6%
資本財 (除.輸送機械)	クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品	資本財(除.輸送用)	-7.1%	-56.6%
		半導体製造装置	-34.8%	-41.6%
		レーダ装置	-76.1%	-7.1%

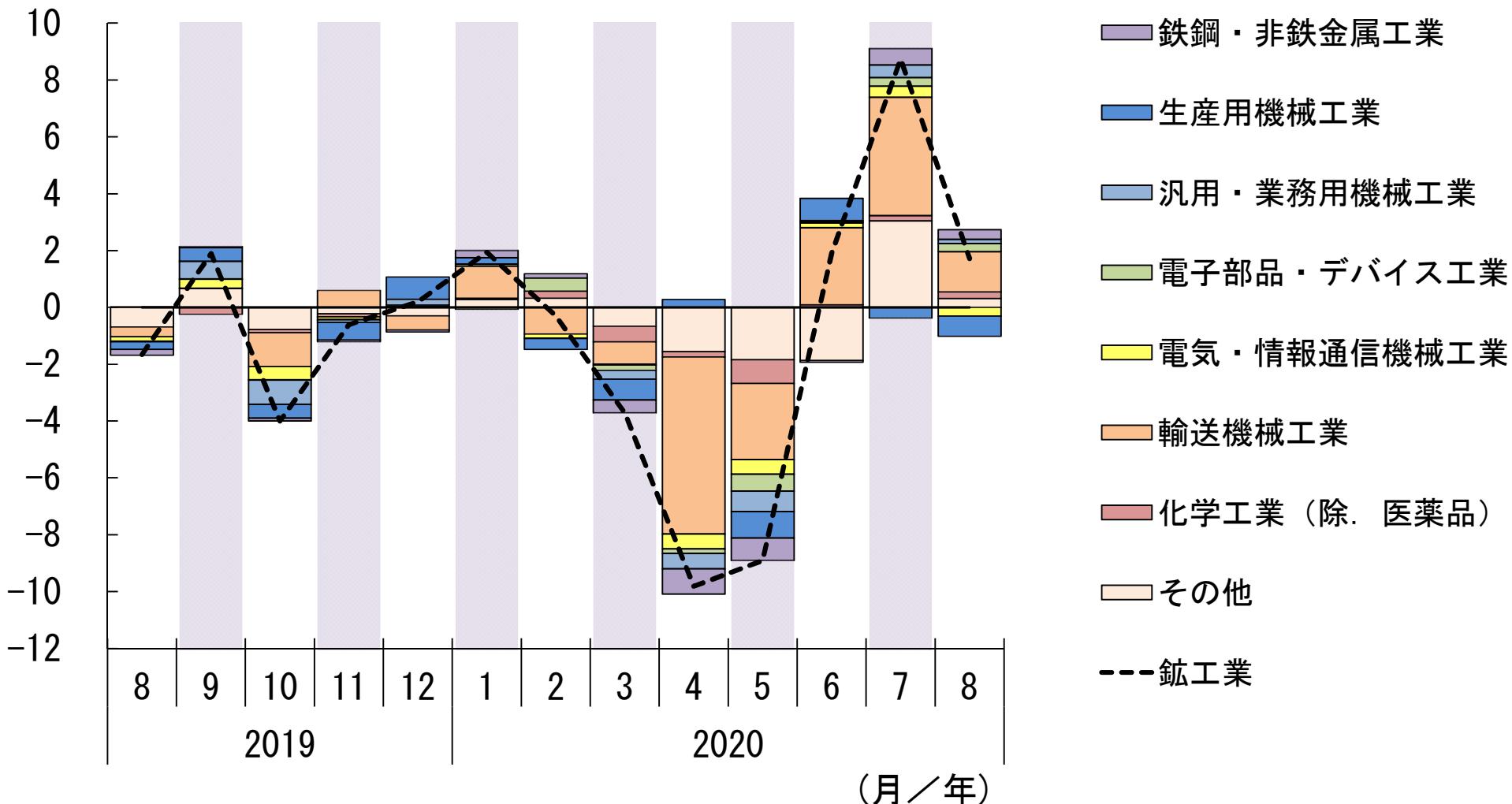
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鉱工業生産前月比 業種別の影響度合い

- 2020年8月の生産指数は、生産用機械工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前月比1.7%の上昇。

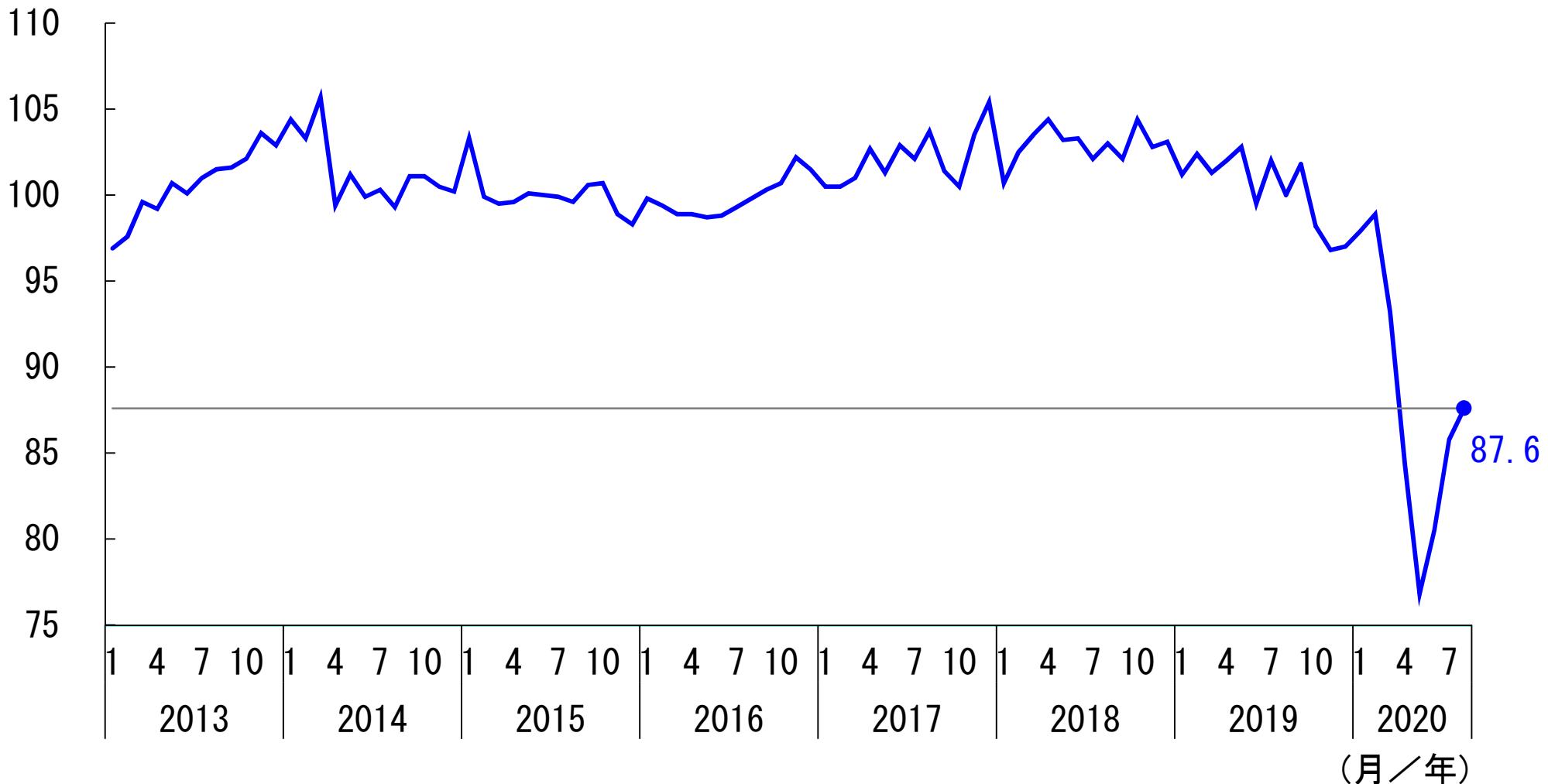
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鉱工業出荷指數の動向

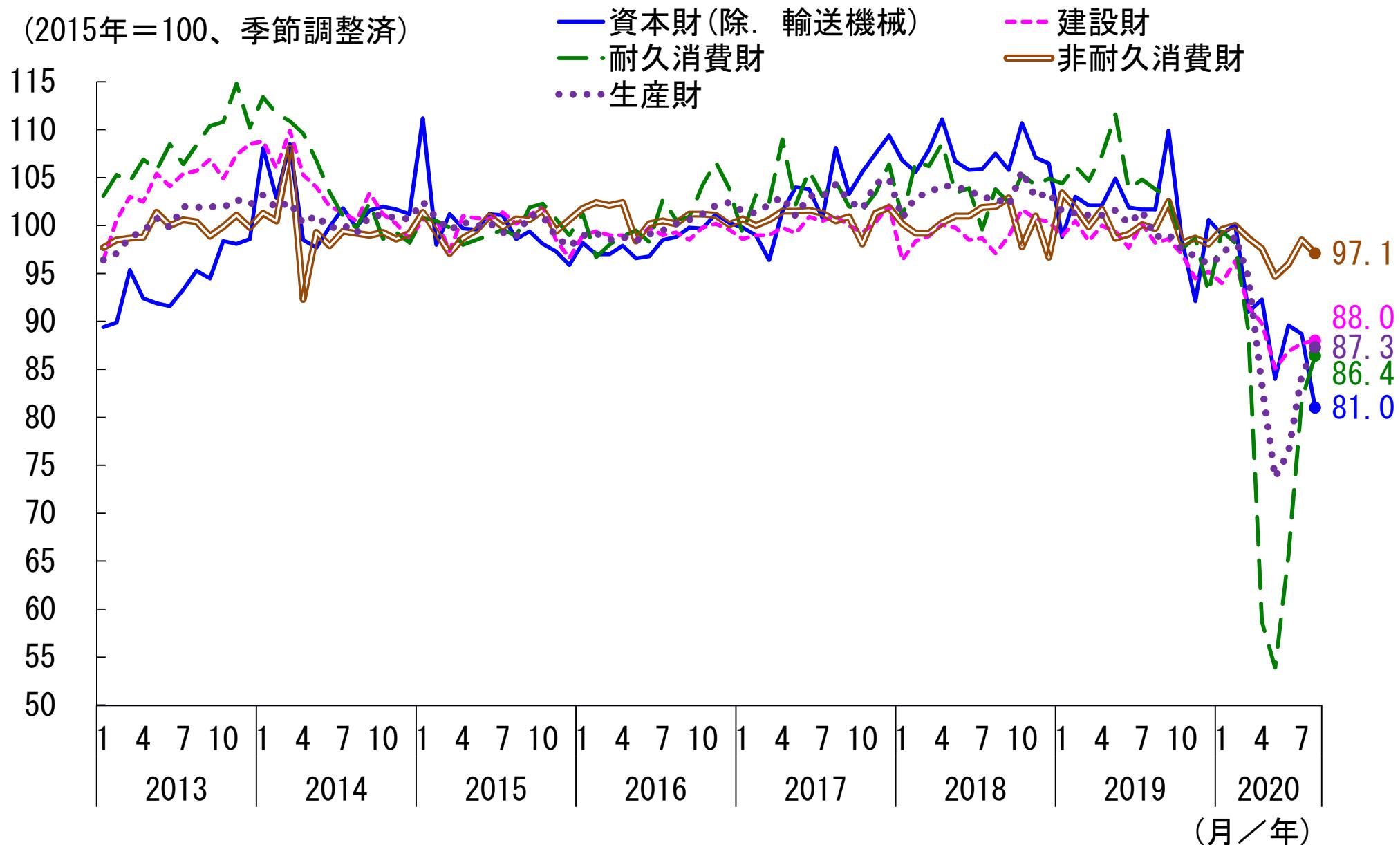
- 2020年8月の鉱工業出荷指數は、87.6(前月比2.1%)と3か月連續の上昇。

(2015年=100、季節調整済)

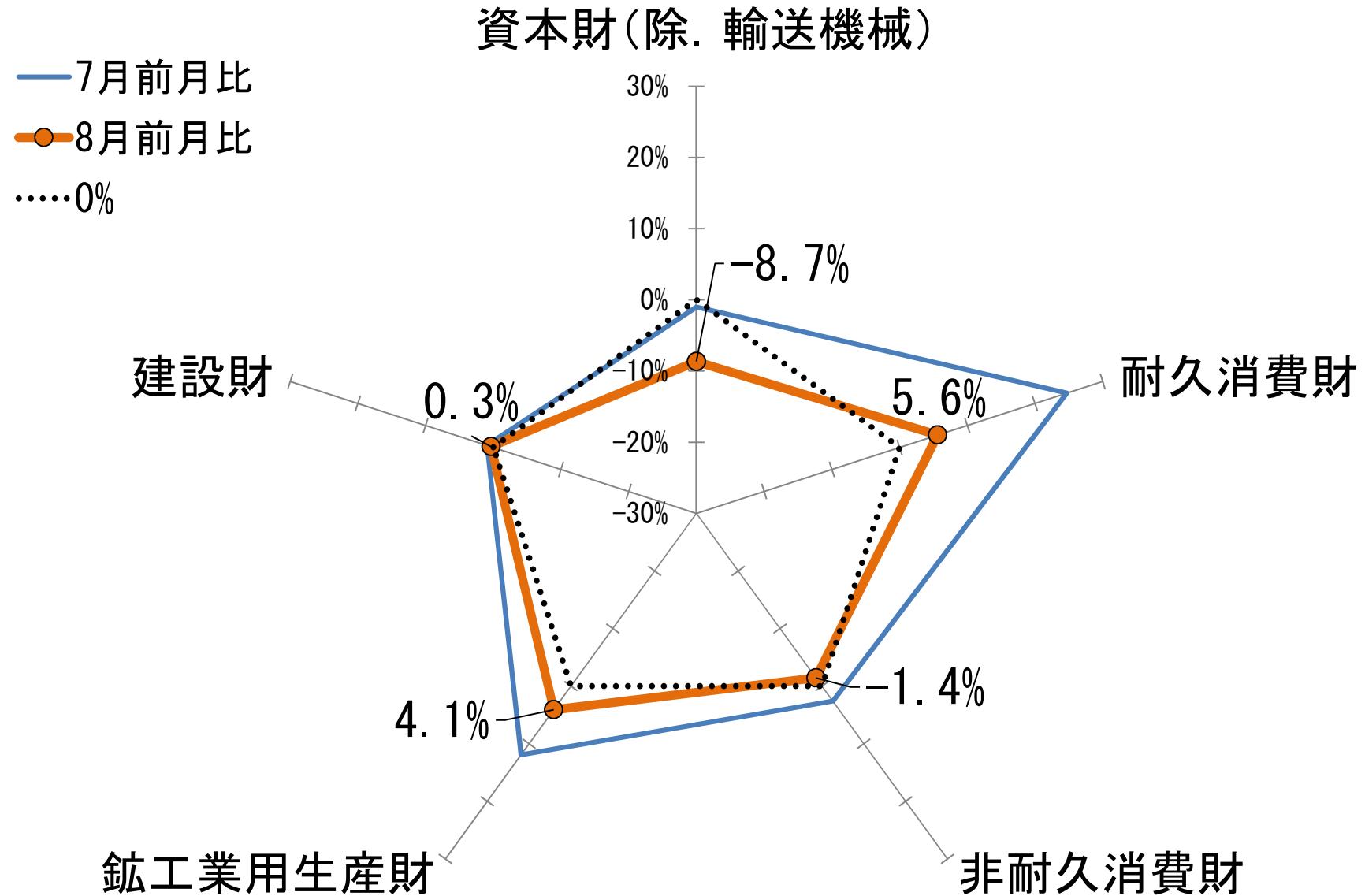


財別出荷指數の動向

(2015年=100、季節調整済)



財別出荷指數の前月比比較（2020年7月、2020年8月）



2020年8月の鉱工業出荷指數を大きく動かした品目（財別）

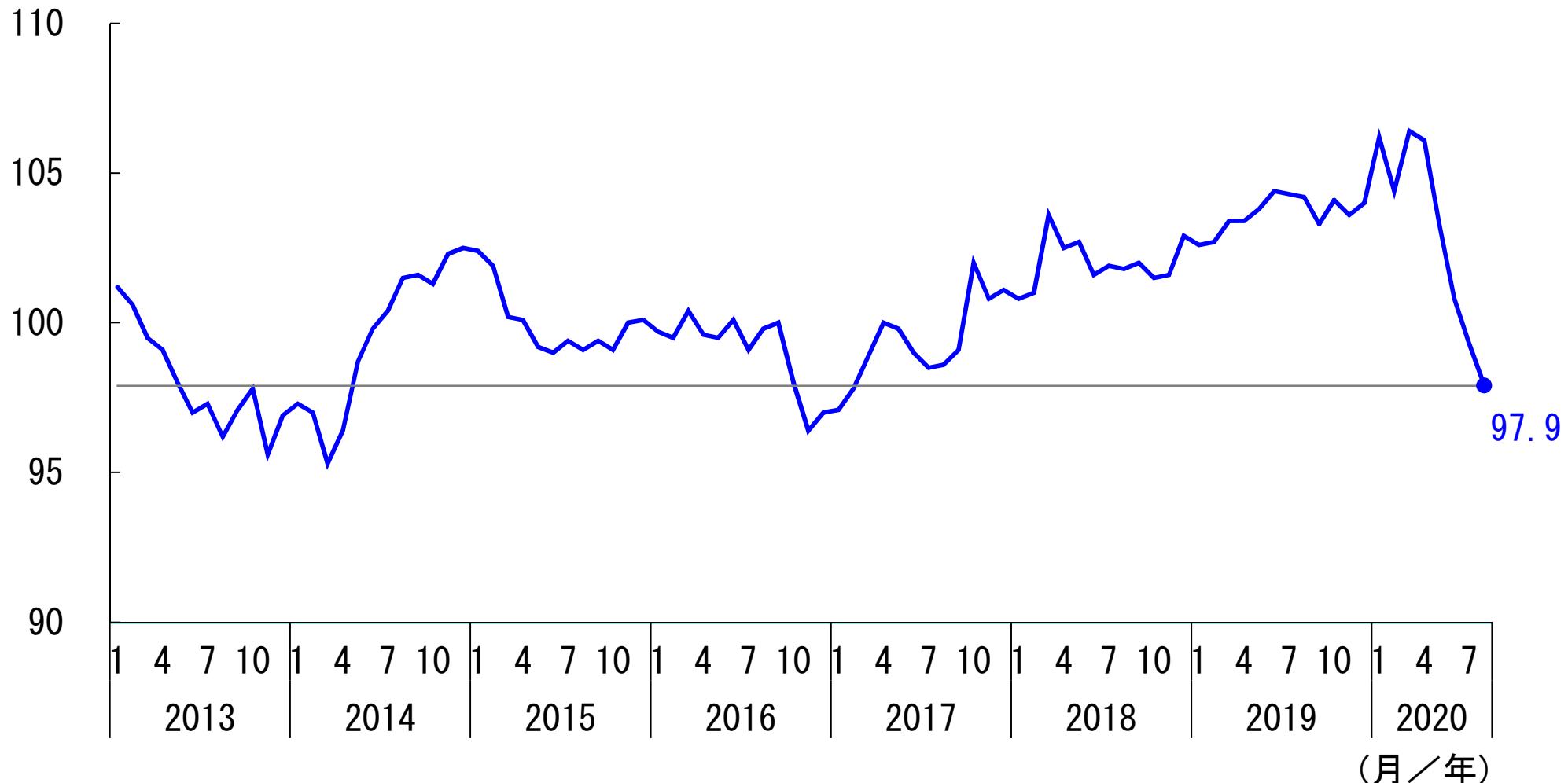
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	3.4%	84.2%
		駆動伝導・操縦装置部品	9.8%	8.4%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品	耐久消費財	5.6%	25.7%
		普通乗用車	12.8%	29.8%
建設財	鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品	建設財	0.3%	0.9%
		セメント	5.9%	1.5%
非耐久消費財	食料品や衣料品など家計で購入される製品	建設財	5.6%	0.7%
		非耐久消費財	-1.4%	-12.5%
資本財	クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品	頭髪用化粧品	-13.2%	-3.1%
		灯油	-21.5%	-3.0%
資本財	クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送用）	-8.7%	-49.4%
		半導体製造装置	-34.4%	-28.6%
		レーダ装置	-77.1%	-6.2%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鉱工業在庫指数の動向

- 2020年8月の在庫指数は、97.9(前月比-1.4%)と5か月連続の低下。

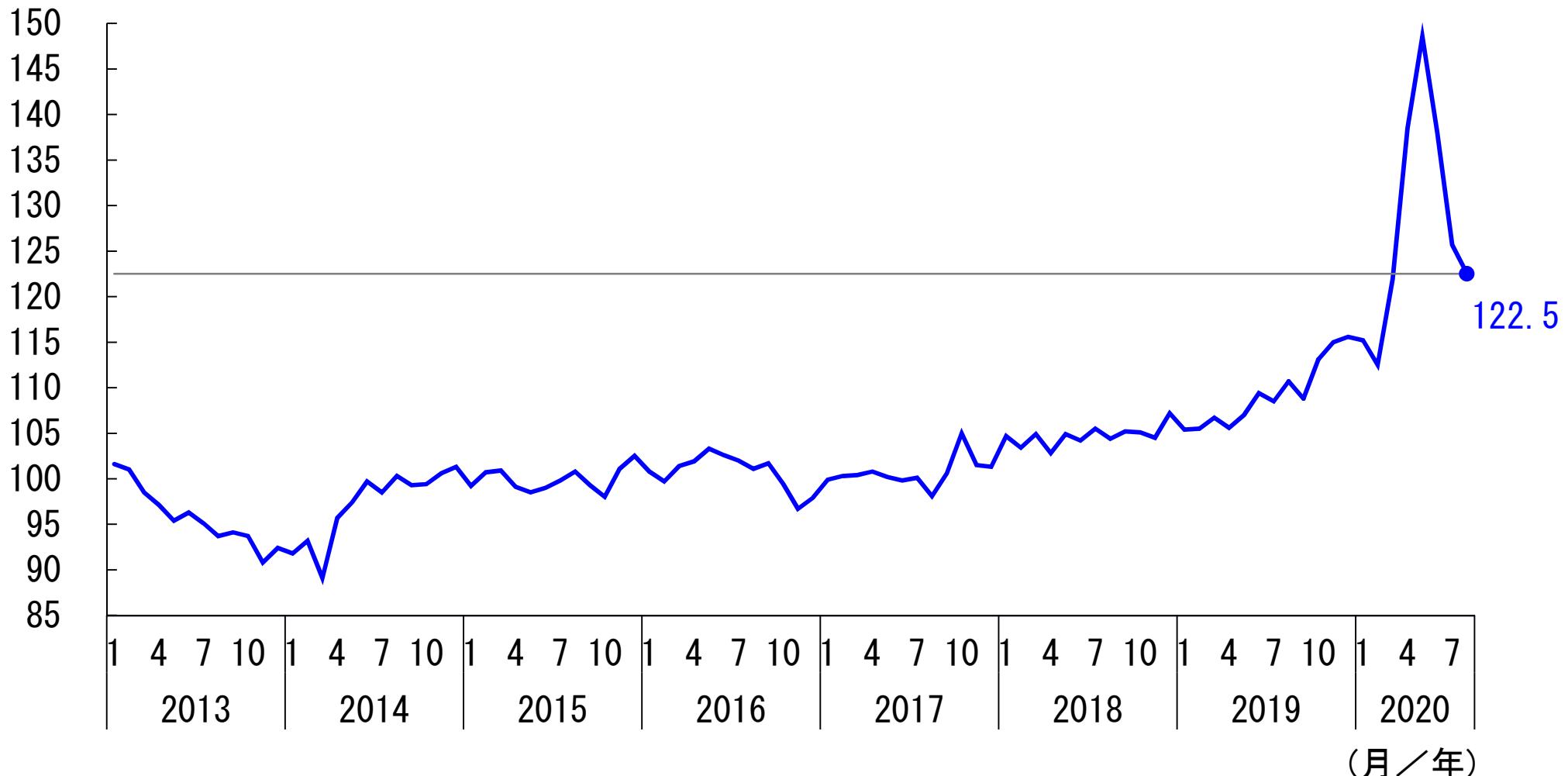
(2015年=100、季節調整済)



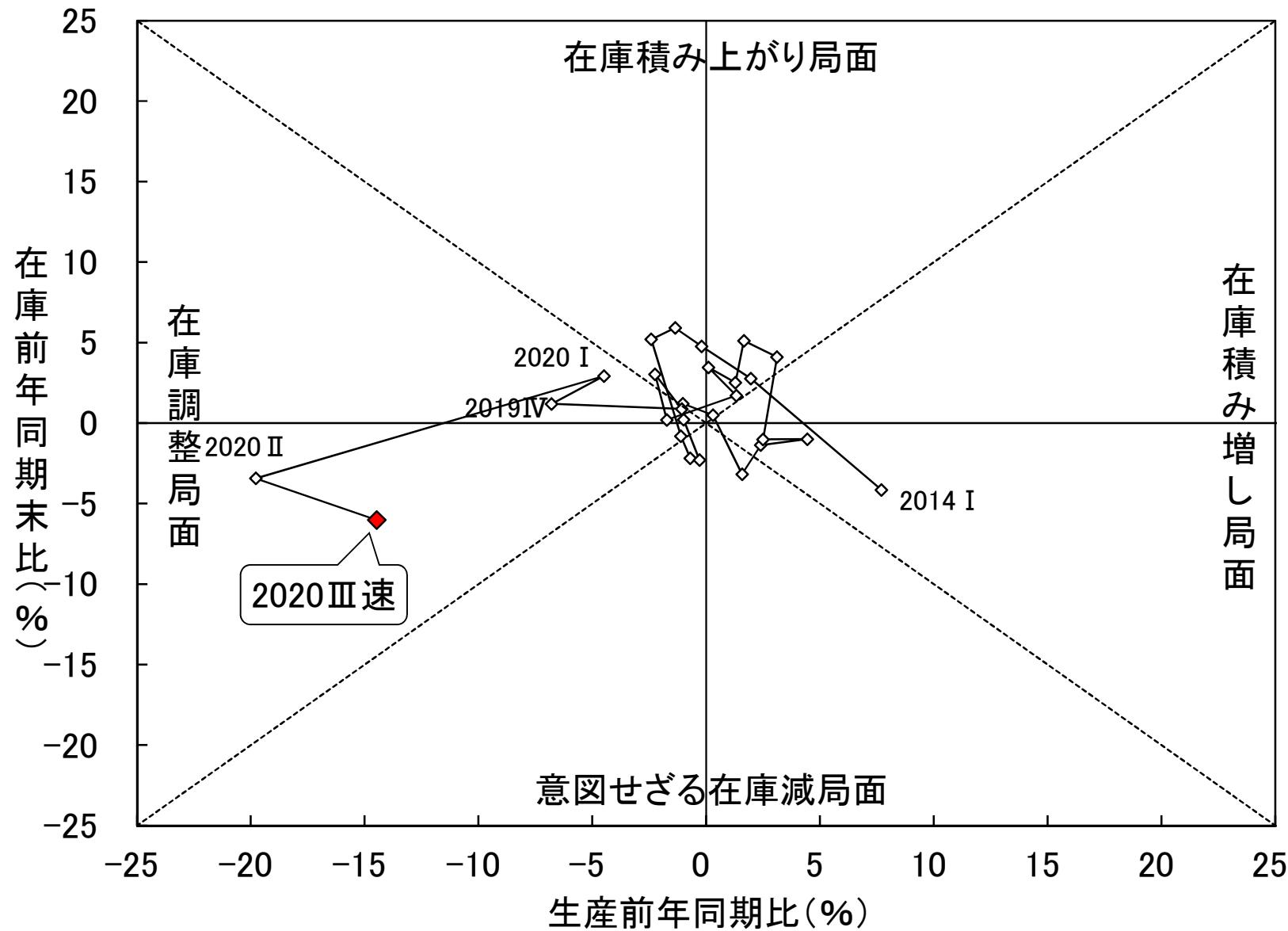
鉱工業在庫率指数の動向

- 2020年8月の在庫率指数は、122.5(前月比-2.5%)と3か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)



鉱工業の在庫循環図



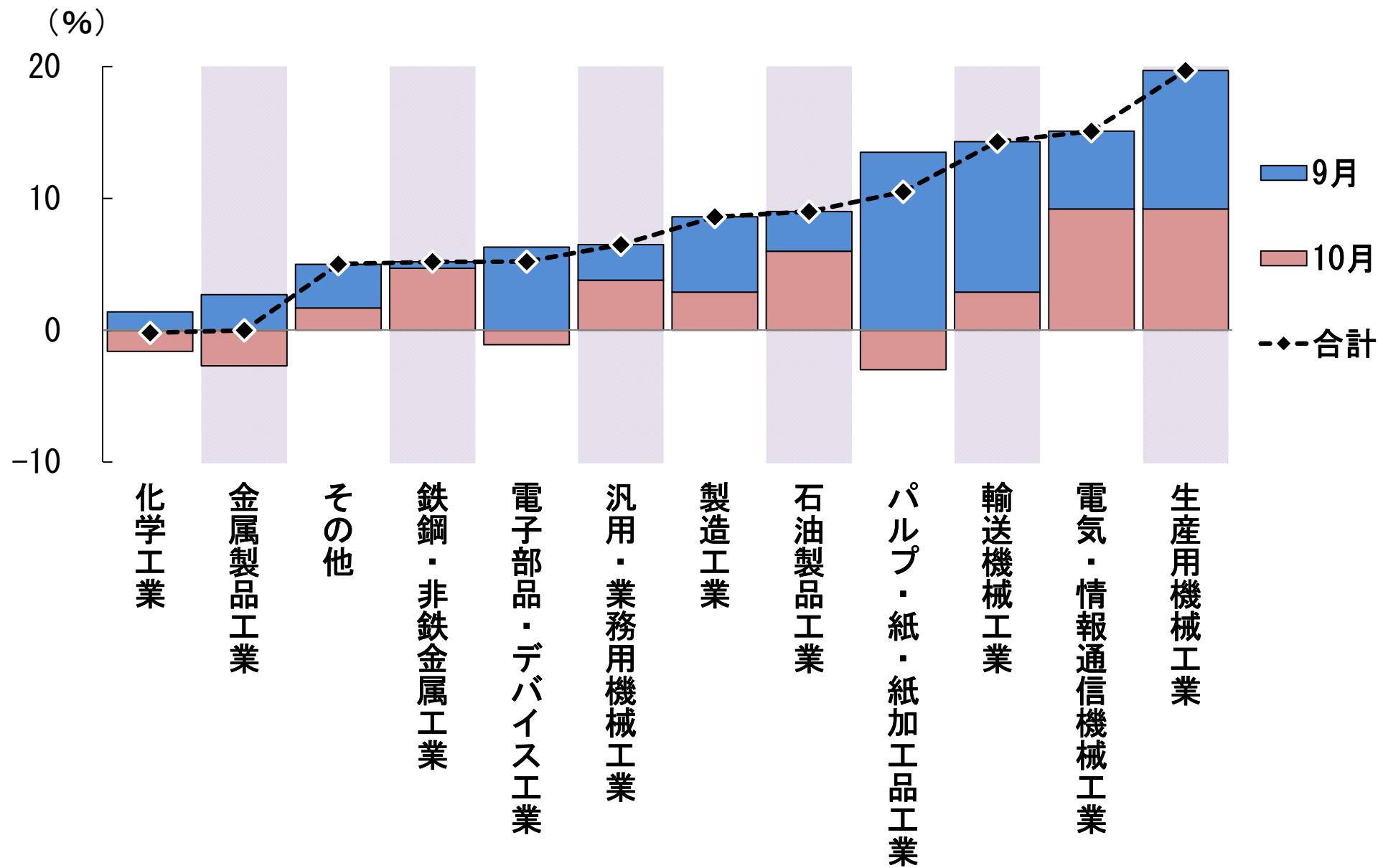
製造工業生産予測指數（季節調整済前月比（%））

	2020年9月見込み	2020年10月見込み
2020年9月調査(今回)	5.7	2.9
2020年8月調査(前回)	1.9	

製造工業生産予測指數の補正值（季節調整済前月比（%））

	補正值	予測調査結果
9月前月比	2.8% (1.3%～4.3%)	5.7

2か月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



2020年9月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
輸送機械工業	11.4%
生産用機械工業	10.5%
電気・情報通信機械工業	5.9%
電子部品・デバイス工業	6.3%
パルプ・紙・紙加工品工業	13.5%
その他	3.3%
汎用・業務用機械工業	2.7%

上昇寄与業種	計画前月比
化学工業	1.4%
金属製品工業	2.7%
石油製品工業	3.0%
鉄鋼・非鉄金属工業	0.5%

2020年10月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比	低下寄与業種	計画前月比
電気・情報通信機械工業	9.2%	パルプ・紙・紙加工品工業	-3.0%
生産用機械工業	9.2%	電子部品・デバイス工業	-1.1%
輸送機械工業	2.9%	金属製品工業	-2.7%
汎用・業務用機械工業	3.8%	化学工業	-1.6%
鉄鋼・非鉄金属工業	4.7%		
その他	1.7%		
石油製品工業	6.0%		

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

2020年8月の鉱工業生産の基調判断

「生産は持ち直している」

基調判断の推移

- | 期間 | 基調判断 |
|--------------------|--------------------------------|
| ・2016年11月～2017年10月 | 「生産は持ち直しの動き」 |
| ・2017年11月、12月 | 「生産は持ち直している」 |
| ・2018年1月～6月 | 「生産は緩やかな持ち直し」 |
| ・2018年7月～9月 | 「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」 |
| ・2018年10月～12月 | 「生産は緩やかな持ち直し」 |
| ・2019年1月、2月 | 「生産は足踏みをしている」 |
| ・2019年3月 | 「生産はこのところ弱含み」 |
| ・2019年4月～7月 | 「生産は一進一退」 |
| ・2019年8月、9月 | 「生産はこのところ弱含み」 |
| ・2019年10月～12月 | 「生産は弱含み」 |
| ・2020年1月、2月 | 「生産は一進一退ながら弱含み」 |
| ・2020年3月 | 「生産は低下している」 |
| ・2020年4月、5月 | 「生産は急速に低下している」 |
| ・2020年6月 | 「生産は下げ止まり、持ち直しの動き」 |
| ・2020年7月 | 「生産は持ち直しの動き」 |
| ・2020年8月～ | 「生産は持ち直している」 |